

## LED光源ユニット[点灯装置つき]

日本国内用

CE407DA-JX14・CE407NA-JX14・CE407WA-JX14・CE407WWA-JX14・CE407LA-JX14  
CE407NB-JX14

●初期照度補正・連続調光(100～約20%)兼用形

■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」  
内容のものです。



してはいけない「禁止」  
内容のものです。



実行していただく「指示」  
内容のものです。

工事店様へ この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

### 警告

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい、確実に行う。  
※不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 光源ユニットを単独で使用しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 適合する日立製器具本体以外と組み合わせて使用しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しない。※火災・感電の原因となります。
- 器具が破損した状態で使用しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具を分解、改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。

### 注意

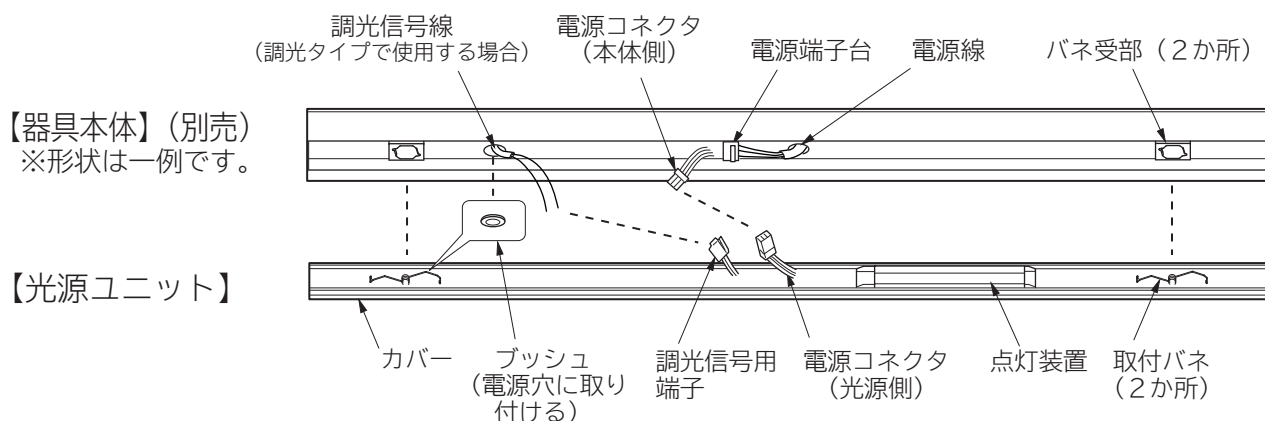
- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しない。  
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具に物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。  
※器具の破損によるけがの原因となります。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しない。※火災・感電・不点灯・絶縁不良の原因となります。
- 器具を密集させて取り付けない。※過熱し、火災の原因となります。
- カバーを強く押したり、掴んだりしない。※カバー破損によるけがの原因となります。

### その他のご注意

- 500Vを超える絶縁抵抗計を用いて、絶縁抵抗試験をしない。※保護機能が作動し不点灯の原因となります。
- 当社専用信号線方式の制御装置以外と組み合わせて使用しない。※動作不良・不点灯の原因となります。
- 漏電ブレーカーに本器具を多数接続する場合は、器具の接続台数に注意する。  
不要動作を防止するため、感度電流30mAの高周波対応形漏電ブレーカーで最大70台としてください。

# 各部の名前

※図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です



## 光源ユニットの取り付けかた

### 1 取付前に確認する。

- 器具本体が光源ユニットを足した器具質量に十分耐える天井に取り付いていることを確認する。  
(光源ユニット質量：1.1 kg) ※強度が不足していると落下によるけがの原因となります。
- 取付ボルトの出代が本体に25mm以下になっていることを確認する。  
※取付ボルトが出すぎると光源ユニットが取り付けられなくなります。
- 光源ユニットの定格電流を確認し、端子台や漏電ブレーカーの定格容量を超えていないことを確認する。  
※定格容量を超えると火災・感電の原因となります。
- 電源線、アース線が器具本体にしっかり接続されていることを確認する。  
※接続に不備があると火災・感電の原因となります。

### 2 取付バネ(2か所)をバネ受部に引っ掛ける。(図1)

- 光源ユニットを点灯装置が端子台に当たらない向きに合わせる。  
※向きが合っていないと取り付けできません。

#### 取付バネの取り付け (図1)

- 取付バネをすぼめ、バネ受部に差し込み引っ掛ける。
- 外す場合は、取付バネをすぼめる。

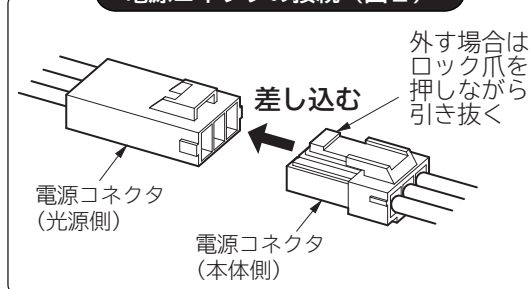
### 3 電源コネクタを接続する。(図2)

- 「カチッ」と音がするまで差し込む。  
※接続に不備があると火災・感電の原因となります。

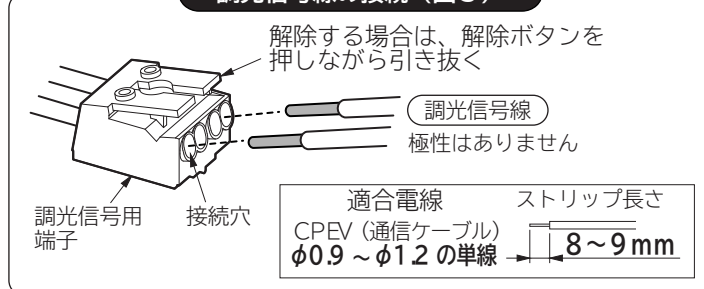
### 4 調光信号線を接続する。(調光タイプで使用する場合) (図3)

- 調光信号線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込む。

#### 電源コネクタの接続 (図2)

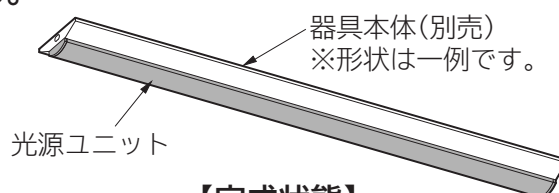


#### 調光信号線の接続 (図3)



### 5 光源ユニットを押し上げ、器具本体に取り付ける。

- カバーを強く押したり、掴んだりしない。  
※カバー破損によるけがの原因となります。
- 光源ユニットの中央付近を押し上げ、器具本体とのすきまがないことを確認する。  
※電線を挟まないよう処理してください。



#### 【完成状態】

### 6 電源を入れ、点灯確認する。

※取り外す場合は、カバーを引き下げ上記の逆の手順で行ってください。

# 仕様

- この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。  
また、アフターサービスもできません。

基本特性(周囲温度25℃)

| 形式              | 全光束 (lm) | 光源色 | 相関色温度 (K) | 平均演色評価数 (Ra) |
|-----------------|----------|-----|-----------|--------------|
| CE407DA-JX14    | 6980 ※1  | 昼光色 | 6500 ※2   | 85 ※2        |
| CE407NA-JX14    | 7200 ※1  | 昼白色 | 5000 ※2   |              |
| CE407NB-JX14 ※4 |          |     |           |              |
| CE407WA-JX14    | 6700 ※1  | 白 色 | 4000 ※2   |              |
| CE407WWA-JX14   | 6540 ※1  | 温白色 | 3500 ※2   |              |
| CE407LA-JX14    | 6210 ※1  | 電球色 | 3000 ※2   |              |

※1 器具本体の形状により変わります。

※2 保証値ではありません。

※3 初期照度補正による電力変化の平均値です。

| 定格入力電圧 (V) | 100     | 200   | 242   |
|------------|---------|-------|-------|
| 入力電流 (A)   | 0.525   | 0.265 | 0.222 |
| 定格消費電力 (W) | 51.4    |       |       |
| 平均消費電力 (W) | 47.8 ※3 |       |       |

※4 CE407NB-JX14のみ

| 定格入力電圧 (V) | 100     | 200   | 242   |
|------------|---------|-------|-------|
| 入力電流 (A)   | 0.470   | 0.237 | 0.198 |
| 定格消費電力 (W) | 45.9    |       |       |
| 平均消費電力 (W) | 42.7 ※3 |       |       |

**お客様へ** この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

## 安全上のご注意 (必ずお守りください)

### ⚠ 警告

- 本ユニット単独での使用はできません。日立製器具本体と組み合わせて使用してください。  
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具を分解、改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まない。※火災・感電の原因となります。
- 器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しない。※火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、器具の使用をやめる。※火災・感電の原因となります。
- 光源ユニットを取り外す場合は、必ず電源を切る。※感電の原因となります。

### ⚠ 注意

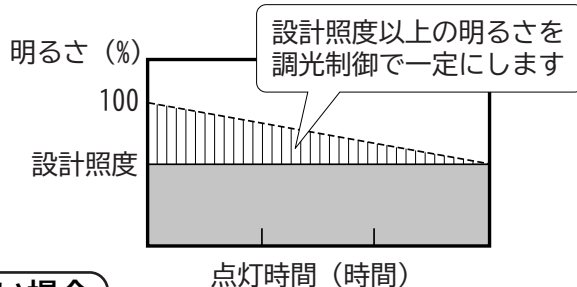
- 器具の近くで温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。  
※火災の原因となります。
- 器具に物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。  
※器具の破損によるけがの原因となります。
- LED光源を長時間直視しない。※目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

## ご使用上の注意

- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をする。  
3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。LED光源は寿命が来ても点灯し続けますが、設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので点検・交換してください。  
(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。)
- 電波の弱い場所（山間・鉄筋建物等）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くで同時通訳機等の誘導無線やワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあるため、同一製品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。また、同一器具内でもLED素子のバラツキによる発光色のムラ、明るさのムラが生じる場合があります。
- 器具周囲に硫黄成分が存在する場所（温泉地など）での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。
- 壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によって光ムラが気になる場合があります。
- 制御装置と組み合わせて使用しない場合には、初期照度補正形となります。  
連続調光形として使用する場合は、専用の制御装置(日立製)と組み合わせてご使用ください。

# 初期照度補正機能について

- 室内の設計照度は寿命時の明るさで設定されているため、新しい照明器具は設定以上の明るさが出ています。初期照度補正機能とは設計照度を考慮して、明るさを調光制御で一定にして省エネをはかる機能です。明るさを重視するときは照度補正機能を解除して、その時の100%の明るさにすることもできます。



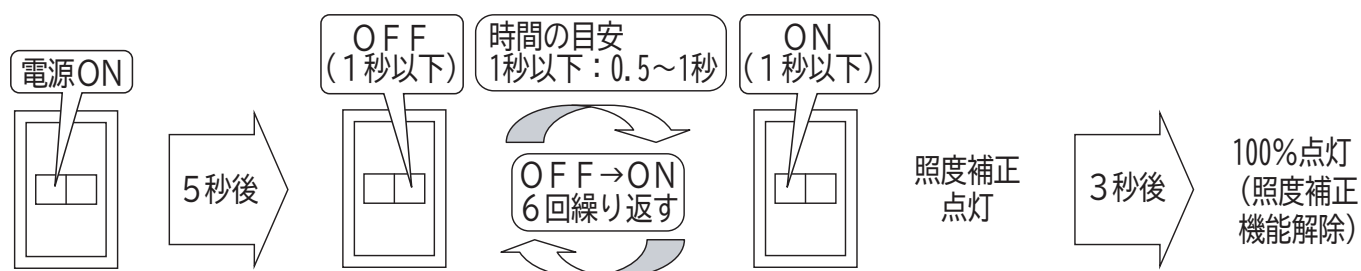
## 初期照度補正機能を解除したい場合

照度補正機能を使用しない場合は、次の操作をしてください。

＊壁スイッチで操作する場合は、同一スイッチ回路に接続されたすべての器具が解除されます。

- 電源ONにして、下図の操作を行ってください。

＊操作後、明るさが変化しない場合は、解除操作が正しく行われていません。再度、解除操作を行ってください。



- 照度補正機能に戻す場合も上記の操作を行ってください。（累積点灯時間はリセットされてます。）

## ご使用上の注意

- 照度補正機能解除操作を行ったときに、万一、同一スイッチ回路に接続された器具の照度補正と定格出力の状態が混在した場合は次の操作をしてください。すべての器具が累積点灯時間タイマーがリセットされ、照度補正機能動作状態になります。

〔電源ON状態から、電源OFF(1秒以下)→電源ON(1秒以下)を16回繰り返す〕

- 器具の汚れに対する補正はできません。定期的に清掃をしてください。
- ホタルスイッチの仕様によっては、リセットができません。

## お手入れ (必ず電源を切ってから行ってください)



- カバーがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたらきれいな布をせっけん水に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。

必ず守る



- みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。割れ・傷・変色・サビの原因となります。

禁止

- 点灯中や消灯直後は、器具が高温になっているので触れないでください。やけどの原因となります。

## 保証とアフターサービス

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、点灯装置は3年間です。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または照明サービスセンターに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

照明サービスセンター：電話(0120)-335-762 受付時間：土日祝日を除く9:00-17:00

日立アプライアンス株式会社